

ふじなみ



ご挨拶

会長 室谷千代子

第二十三期(昭和四十六年卒業)

卒業と別れの季節、春光の中にも何かの悲しさを感じる今日この頃、同窓会「ふじなみ」の会員の皆様には、お変わりなくお過ごしのことと存じます。

さて、平成十八年度は「ふじなみ」の総会開催の年となっております。前回の総会におきましてもお知らせいたしました、今回の総会は今までと趣きを変えまして、バスを利用し系列校のひとつであります神戸芸術工科大学の見学とクルージングをとお考えしております。

総合的なデザインを追究する「デザイン」の専門大学としての神戸芸術工科大学の



ご挨拶

校長 三浦 博

ふじなみ会会員の皆様方には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は母校の教育振興にご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

大企業を中心に景気が回復に向かっていると聞かれています。わが国の経済は長年に亘るデフレ不況から未だ脱出したとは言えない状態にあります。また、近年の少子化の影響で高校受験生の数は減る一方で、高校間の競争が益々激化してきています。

このような状況の中で、本校におきましては、平成十五年度から、三コース制並びにウィンターセッションという新しい学期制により教育を進めてまいりました。しかしながら、コース制により中学時代という早期に将来の進路選択を迫ることの是非、進路目標達成のために受験に必要な科目以外の教科を軽視するといった現在の高校教育界全体の大きな流れに疑問を感じるようになりまして、

建学の理念「世に役立つ人物の養成」に則り、生徒たちの卒業後の将来を見すえ、

未来を切り拓く力を備えたデザイナーの育成を目指す息吹を身近に感じていただけるものと思っております。その後、国内最大級のレストラン船「ルミナス神戸2」にご乗船頂き、総会と共に船上ランチクルーズをご堪能いただければと思っております。ご多忙中恐縮ではございますが、お一人でも多くの会員の皆様のお元氣なお顔をお見せ頂きたいと存じます。何とぞご参加をお願いいたします。

母校では、社会のニーズに対応しうる有意な人材の育成に、教職員の皆様が全力を注ぎ、

豊かな人生を送るために、本当に必要なものを育むことを基本に考え、それは受験のためだけの一部に偏った教育でもなく、職業に直結した技術や技能だけを学ぶ教育でもありません。バランスよく、幅広く教養を身につけてもらうこと、そのために平成十八年度入学生からコース分けをせず普通科へと新たに改編し、次に掲げる五つを教育の柱として実践していきます。

礼： 社会人・一人の女性として必要な常識、礼儀作法を身につけます。
礎： 生きていく上で必要な基礎学力をバランスよく身につけます。
嗜： 人生を豊かにする教養を積み、茶華道などの嗜みを身につけます。
創： 自分を再発見し、前向きに生きる力・創造的な力を身につけます。
絆： 親と子・学校との連携を深め、

更なる飛躍を目指しておられます。自然豊かな開放感にあふれる環境の中で、創意工夫が十分に活かされた教育の実践が、今なお脈々と受け継がれている母校の姿を目にし、私達卒業生といたしましても誇りに感じています。

今後とも、母校と同窓会会員相互のより一層の交流と親睦を深めるため、更なる活動が続いてまいる所存でございます。会員の皆様のご支援、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

ここでは、茶華道やコーラスの授業といった新しい試みの他、コース制で培った徹底した習熟度学習、ネットイブスピーカーだけによる英会話学習、体系的な進路学習プログラム、受験指導のノウハウなど多くの経験を全ての生徒へと還元すべく、取り入れていきます。

なお、「入学した生徒一人ひとりを大切に教育実践」は、以前以上に成果を挙げていく所存です。同窓の皆様が、母校大阪女子短期大学高等学校の卒業生であることを心から誇りに思っているだけ、学校づくりに鋭意努力する所存であり、すので、今後とも、なにとぞご後援を賜りますようお願い申し上げます。最後に、ご発展と会員の皆様のご健勝を祈念致しご挨拶とさせていただきます。

保護者の方とともに学校生活を作ります。



総会のお知らせ

[2006.5.21.sun]



神戸芸術工科大学訪問&船上ランチクルーズ
神戸空港の眺望を楽しみましょう！

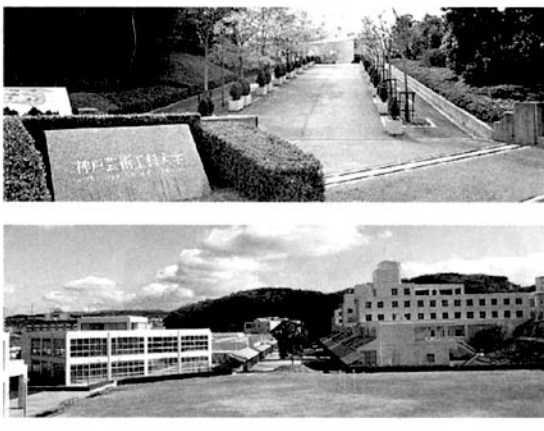
前号の「ふじなみ会報」でお知らせ致しました、本年の同窓会総会のご案内について、今回の総会は、キャンパス見学を兼ねた旅行ツアー(前回の総会アンケート結果より)を企画致しました。五月二十一日(日)の午前中は、系列校である神戸芸術工科大学のキャンパスを見学して頂き、その後、震災後の神戸の復興の姿や、新しく開設された神戸空港と明石海峡大橋を海上から眺めてみる予定です。更に、船上では豪華なフルコースの食事を満喫しながら総会を開催したく考えております。帰港後は、食の殿堂、神戸コロッセアやシウマイの美味しい南京町の散策をしたいと思います。(お土産に最適かも...) 実に豪華なツアーとなっております。費用の面は、若干ではありますが、同窓会から補助金も出しますので、是非、この機会に多数の皆様のご参加をお待ち致しております。

※参加ご希望の皆様は、五月十二日(金)までに、事務局〇七二九(五五)〇七三三の上田まで、住所、氏名、電話番号、参加人数とお子様のご参加の有無をご連絡下さい。尚、ツアー費用は当日徴収させていただきます。



「食事施設ルミナス神戸2」 レストラン船としては国内最大級。明石海峡大橋の真下を通過する時の感動は真にダイナミックでエレガント!

「見学施設神戸芸術工科大学」 神戸芸術工科大学は、総合的なデザインを追究する「デザイン」の専門大学です。コンピュータを核とした高度情報化社会。産業はほとんどソフト化、ファッション化し、経済活動そのものがデザインされる世の中。デザイン活動は広がる一方です。このような世の中とダイナミックに関わり、二十一世紀を動かすデザイナーを育てたい。そのためには、芸術的感性はもちろんのこと、科学的なモノの見方・考え方、みずみずしい教養が必要だと考えています。この観点に立って、単なるモノづくりではなく、調査・企画・計画から、設計・生産、さらに販売、運用にいたるまでをトータルに見とおし、未来を切り拓く力を持ったデザイナーの育成を目指します。



お一人当たり：7,000円
新卒会員：5,000円
子どもくおさまランチ付：5,000円

神戸芸術工科大学キャンパス訪問&神戸港船上ランチクルーズ			
天王寺	高速利用<バス>	神戸芸術工科大学キャンパス訪問	
8:30		10:00~11:00	
船上ランチクルーズと総会	徒歩移動	南京町散策	
12:00~14:20		15:00~16:00	
元町	<バス>	天王寺	
16:00		17:00頃	

なつかしい先生...

- ① 恩師のお名前
 - ② 近況
 - ③ 卒業生との交流など
 - ④ その他
- の順になっています。



① 尼子東吉先生
② 大阪商業大学高等学校校長。毎日、忙しくさせていたでいます。
③ ソフトボール部OG会を毎年開いていただいでいます。若い人たちの元気な顔を拝見するとこの仕事をして良かったと感謝しています。
④ 兄弟校の大阪商業大学堺高校の野球部が甲子園に近い位置にいます。負けないよう頑張れと顧問を激励しています。



① 岡崎延之先生
② 昨年春退職してからはいささか退屈味の毎日を過ごしてはいますが、好きな陸上競技に係る仕事をしながら退職を紛らわしております。
③ 特にないか多すぎるのか書きようがありません。



① 倉野 忠先生
② 高校を退職してから長吉長原、松原高校で珠算講師。そのあと関西珠算学校で五十年。珠算一筋で現在に至っております。近作の俳句を
④ 趣味はカラオケと俳句です。近作の俳句を
冬晴れの吉野の宮は人おらず
新郎の咳に新婦が笑み返す
老いかくすマスクに老いの匂が多し
冬晴れやなすこく多し傘寿かな
呼び声が殺気になざる年の暮



① 左近 博先生
② 畑仕事。「白菜、大根、ネギ、水菜、エンドウ苗」などを育てています。その他処方箋薬局の仕事をしています。
③ 年数もたったので、よいお母さんになっている人が多いようです。また、長年文通をしてくれている方もいます。



① 鮫島義信先生
② 平凡ながら、一日が短く感じられる日々を過ごしてはいます。
③ 昭和三十七年から平成八年までの卒業生のうち、一部の方々から折節近況を知らせてもらっています。
④ ふじなみ会の運営、活動などご苦労様です。益々のご発展を祈念いたします。



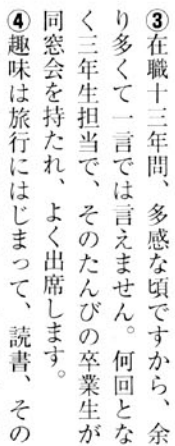
① 辻 正男先生
② 園芸(庭の草花と観音竹、萬両等)、囲碁
③ 図書館にて放課後生徒と一対一にて数学の質問に答えたこと。
④ 退職後も数名の教え児等とおつき合をしてお逢いしています。



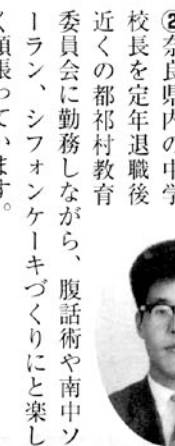
① 中川泰通先生
② 教科が美術・工芸ということもあり趣味と実益が同じなので...? どう、お答えしたらいいのかわからない。か、ゴメンナサイ。
④ 勤務当時は、三十才の前半でした。現在、五十才を越えました。大阪府立港南造形高等学校で、染、織の専門実技を担当しています。



① 西川正昭先生
② ライフワークは珠算に関する事です。そろばんの計算力は大切です。後世に必ず伝えて行く事に熱意を燃やしています。



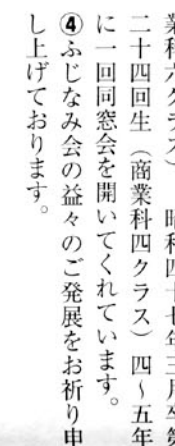
① 西谷 昇先生
② 奈良県内の中学校校長を定年退職後近くの都祁村教育委員会に勤務しながら、腹話術や南中ソラン、シフォンケーキづくりにと楽しく頑張っています。
③ 弁論部をつくり、全国大会で団体準優勝、個人の部でも連続して入賞させた事が思い出されます。
④ 女子短大附高でバレーボール部で活躍、社会人でも頑張っていた上田栄子(現中川)さんと同じ職場です。



① 森内丑治先生
② ゆとりの中でも多少の刺激、適度な緊張もある今、本番のゆとり人生の月日は、むしろ飛ぶように早い。ゆとり人生を長く生きることが目標にしています。
③ 昭和四十四年三月卒第二十一回生(商業科六クラス)、昭和四十七年三月卒第二十四回生(商業科四クラス) 四、五年に一回同窓会を開いていただいでいます。
④ ふじなみ会の益々のご発展をお祈り申し上げます。



① 安岡寛司先生
② 脳内出血で倒れ、現在やとと体力がついてきたところ
③ 夫は十二月から陶芸を習い始めました。夫人も十二月から陶芸を習い始めました。③ 入院中もお父さんのように思っていたという卒業生がお見舞いに来て下さった大きな励みになりました。ありがたうございました。(本人は夢うつつでした。どこかかわかっていたと思います。)



① 吉田太二先生
② 自宅の空地で野菜を作っています。収穫時が楽しいです。また、コンピューター相手に囲碁をして楽しんでます。
③ 長い教師生活でクラス担任をしたのは、最初の二年間です。特にエピソード等はありません。退職した時、最後に担任した卒業生が同窓会をしてくれました。神社・仏閣・美術館・博物館へは、よく行きますし、音楽鑑賞もします。行き先は、東は名古屋から西は神戸までが多いです。

すてきな仲間

その1

★同窓会★

～第29期3年1組～

(昭和52年卒業)



中私達に話しかけてくれたいたあの調子で、やさしい顔をして今の学校の様子や先生方の事を話して下さり、又皆の近況を案じて聞いて下さる先生の心遣いが有りがたく思いました。学生時代の友達、思い出というのは素晴らしいもので、皆の顔が、パツとなごやかに、つい先日の出来事のように、楽しい思い出に花が咲き、そこには三十年前の愛称で呼び合う四十七才の乙女がいました。
又その年月の中で積み重ねて来られた皆様の人生観あふれるお話に、感動し刺激を受け、時のたつのも忘れ、たのしいひとときを過ごす事が出来ました。そして、この日に参加できなかった友からのお手紙や写真も席に彩りを添えて下さいました。
皆さん、それぞれの地で、それぞれの人生をいっしょけんめい歩んでらっしゃるとの事、気のひきしまる思いです。会場を変えてからも、まだ話したらない様子で、周りからはさわがしいおばちゃん集団に思えた事でしょう。同窓会が終わわり、あわたたしい生活に戻って、しばらくしてから同窓会の写真が手元に届き、それをみて一人で微笑んでいる私がありました。又これからは先生方の、そして皆様のご健康とご活躍をお祈りし、又いつか皆様にお会いできる日を、楽しみに頑張っていきたいと思ひます。



① 森口 弘先生
② 完全退職時?の平成元年四月から平成十六年現在に至るまで休むことなくNHK学園の書道講座を受講しています。又、朝日カルチャーセンター「古道散策」に参加し、平成六年以来現在までつづいています。
③ 卒業生の島田善子様、山本(旧姓島田)康子様ご一家に当麻寺極楽院の歌碑建立に、たいへんお世話になりました。そして当麻寺の行事(練供養)に度々お招きを受け親しくさせていただいています。
④ 在職時から左近博先生・辻正男先生・守井俊司先生と年二回会食を共にし学校のことなど話し合う会を今に至るもつづけています。



① 川田綾子先生
このたび、琉球舞踊冠船流川田綾子の会「く草色めく」を左記の通り開催することにいたしました。
平成十八年九月十七日(日)
場所 厚生年金会館 芸術ホール
日時 十四時会場 十五時開演
前売券 三、五〇〇円
当日券 四、〇〇〇円

去る五月三日、私達第二十九期卒業生三年一組は、現在、母校の校長をしておられる三浦先生に出席して頂き同窓会を開きました。私達が、学生の頃の三浦先生は、いつもジャージ姿で、若々しく笑顔の素敵な、三年一組みんなの、あこがれの先生でした。時には新婚の御家庭をひやかしたり、わがままを言って困らせたり、本当に授業だけでなく、いつも楽しく過ごさせて頂いていた事を、思い出します。その先生も今は校長先生でおられるという事で、近寄りがたいのではと思っておりました。しかし、会場に入ってきたら先生は、気取りもなく、私達に話しかけてくれ、一瞬にして若かりし学生時代に引き戻してくれました。授業

私は、平成八年より、お声がかかれ各地を回りボランティアを中心に微力ながら活動が続けております。同級生ならびにご家族の方々に見て頂き琉球舞踊を身近に感じて頂きたいと現代の沖縄の音楽を取り入れ創作舞踊も織り込みました。
又、今回の司会には、同期生の藤井弘子さんに務めて頂き事になっております。
何度皆様のご協力をお願い申し上げます。第二十三期(昭和四十六年卒業) 上地 礼子

谷口まり子

母校に馳せる思い新たに

第九期(昭三十二年卒業) 室屋「こころ」



2学年クラスで競ったソフトボール3班の優勝
向かって左・教頭 加藤一先生 右・担任 柳千鶴子先生

昭和二十九年四月相愛第二高校(昭和三十年大阪女子短期大附属高校)に入学し、三十四年四月大阪女子短大に進み、三十六年三月卒業、同年四月短大に助手として採用され、平成十七年三月定年退職いたしました。私がここまで辿り着いたのも、皆様方のお力添えがあったからこそ感謝しております。

高校時代は、川口市五郎校長で、生徒数は全校一六〇名ぐらいで先生も少なく、全員が顔見知りという家庭的雰囲気でありました。

一緒に入学した中には、以前から併設のあった中学校からの進学者もあり、この人達で中学校は終了したようです。この時代の学園の経過や学風については、ふじなみ会第四代会長の宮井恵美子さんが、谷岡学園五十年史(昭和五十三年十一月一日発行・一〇〇五ページ)一〇一(二ページ)に「藤井寺学園思い出の日々」と題して詳細にその歴史を綴っています。

私達の先輩の方々の中には、この学園で中学・高校と六年間を過ごされた人たちが多くあり、宮井さんのお話により、先生方の結びつきもひとしおであられたようで、学校を守り続けられた当時の様子が手に取るように、私の心に伝わりました。

いつの時代でも母校の思い出の中に巡る事柄は、恩師や校内の情景と母校の発展を願う気持ちには変わらなさと信じています。

さて、私達の三年間の高校生活は三十五名で入学のスタートをきりました。当時としては一番少ない年で、担任は一年(三年生まで八木千鶴子先生(新姓柳)が三年間受け持ってくださいました。スポーツ大会もクラス対抗は出来ず、クラスを三班に分けてソフトボール等、楽しみました。遠足は京都、奈良、滋賀方面に、夏休みには林間学習が希望者に開校され、二泊三日で吉野山、高野山、軽井沢に行き、なかでも軽井沢のグリーンホテルの宿泊は、忘れ難い思い出です。修学旅行は三年生の春で、東京(国会議事堂)箱根(鶴ヶ岡八幡宮、大鎌倉(鶴ヶ岡八幡宮)、大仏(日光(東照宮)など、青春時代の足取りを今更に感慨深く、卒業アルバムに思いを馳せております。クラブ活動はバレーボール、ソフトボール、テニス、手芸、珠算、文芸部など全生徒が入部しました。私達のクラスメイトは個性が豊かで、団結の精神も大きく、担任の八木先生を困らせる場面もありました。それだけに私達を見守ってくださった愛情は、現在でもお言葉の中に感じることが出来ます。

八木先生は、平成十八年で八十四才(年女の戌年)を迎えられ、現在ご主人は他界されていますが、兵庫県の有馬温泉地でやみません。

で、豊かな景色と温泉を楽しみながら暮らしています。お体の方は近年膝を手術されたりのこともあって、その治療が続けられています。電話では「あなたも体を大事にしよう」と叱られるようなこともしばしばです。自分でも「口だけは達者」とご満足です。私達も先生がいつまでもお口が達者で、見守ってくださいることを心から願っています。

さてこちらでふじなみ会について述べてみたいと思います。ふじなみ会は昭和二十三年に発足し、初代会長から三代目の十三年間は、会長一人と学校の担当者で運営されていたようですが、四代目の宮井恵美子さんが引き継がれた昭和三十六年度から組織が成立し、役員数も決定充実した運営がなされてきました。昭和三十六年から喜多あい先生が幹事としてご指導くださり、昭和五十年には渡辺直子先生がご担当くださいました。喜多先生は強いご要望もあって、当時は会費を積み立て、同窓会の夢として大きな仕事を企画し、活動は許容される範囲で行っていました。宮井会長を中心に、社会情勢に合わせて、バスで一日ツアーを組み、総会は昼食会場で行われました。彦根、伊賀上野など多方面におよびました。レストランやホテルでの総会の後の昼食は、先生方と卒業生の語らいが賑やかに行われ、あつと言いつつコミュニケーションの輪が広がります。そして昭和五十年五月二十五日、待望の会員名簿第四号が発行されました。戦後の学区制改定により、学校名も次々と変更され、また相愛第二高校から谷岡学園に移行する中で、校名の変更があり、昭和三十年に短期大学が創設されて、やっと大阪女子短大附属高校に定着いたしました。このような移り変わりの中で、名簿作成のご苦労はいかばかりかと今更のように感じます。宮井会長と山本多恵子さんはじめ、役員の方々のご尽力に心から感謝したいと常々思っております。昭和三十六年度から平成七年度まで三十年余ふじなみ会の維持に務められた功績は偉大であります。五代目会長には空谷千代子さんが就任し、一年一回の会報発行や総会開催時のイベントなど、情報化社会に適合したすばらしい活躍が見られます。時代と共に少子化が進む今日、ふじなみ会の将来が憂慮されますが、今後も会員相互の力を結集して、母校の発展に寄与できることを望んでやみません。



すてきな仲間

その2

★同窓会★

～第5期生～

(昭和24年卒業)

元氣ハツラツ、第五期生の先輩方！新年が始まり、一月九日(祝)の日に、第五期生の先輩方が、私ども土佐堀のYMCA会館一階の「おかずダイニング&カフェ」に同窓会をされました。後輩である私は「もぐり」でさせて頂き連絡を受け、さっそく突撃取材をさせて頂きました。一月の寒波も重なり集まられた先輩方は八名でいらっしやいました。皆様方のお元気でハツラツとした様子を拝見し、本当に驚きました。学校を昭和二十四年に卒業され、約五十七年を経た今もずっと変わらずに交流されて来られたのには、感動さえ致します。私にとつては母と同じ年代ですから、皆様方と女子高校生時代に戻られて、キヤーカーと思ひ出話をされながら、お食事をしている様子は、高校時代の学食が目に見え、私までうれしくたまりませんでした。本当に女子高の良さというのには、いつまでもたっても同級生に会うと少女時代に戻れるということではないでしょうか？

あつという間の二時間でしたが、これからも健康を保たれ、ずっとこのように楽しい同窓会を続けていってほしいと心より願っております。そして、これからも私たちをお見守り頂き、昔の学校の事など、たくさん教えて頂きたいと思っております。ありがとうございます。次回総会でお逢い出来る日を楽しみにしております。第三十二期(昭和五十四年卒業)

豊永 昌子

これをより明確にするために平成十八年四月からコース分けをせず普通科へと新たに改編し、次に掲げる五つの柱を持つ「ほんものの教育プログラム」の構築に取り組みこととしました。

「礼」― 社会人・一人の女性として必要な常識、礼儀作法を身につけます

「礎」― 生きていく上で必要な基礎学力をバランスよく身につけます

「嗜」― 人生を豊かにする教養を積み、茶華道などの嗜みを身につけます

「創」― 自分を再発見し、前向きに生きる力・創造的な力を身につけます

「絆」― 親と子・学校との連携を深め、保護者の方とともに学校生活を作ります



卒業いたしましたから早五十七年が経ちました。ふり返れば長い年月です。輝いた青春時代はなかったのに何故か懐かしい学舎が思い出されます。あの藤棚の下を友と歩いた頃が、この間のようにです。先日、「もぐり」にて、同級生と新年宴会を楽しみましたが、やはり苦難の道よりも越えてきた私達の集いは、大変意義あるものと感じ細く長くの交友をと思っております。又一人でも多くの参加を求めて、広げて参りたいと願っています。これからは、健康第一に、少しの挑戦、少しのお洒落を心がけ、今が青春！と頑張る前向きに歩んでいきたいと、考えております。

(昭和二十四年卒業)

野村恵美子

新教養レニッサンス

本校は、現行の学習指導要領施行以来、三つのコース制並びにウィンターセッションという新しい学期制により教育を進めてきました。しかし、コース制により中学時代という早期に将来の進路選択を迫ることの是非、また、進路目標達成のために受験に必要な科目以外の教科を軽視するといった現在の高校教育界全体の大きな流れに疑問を感じるようになりました。

本校が伝統的に理想としてきた高校教育は、生徒たちの卒業後の将来を見すえ、豊かな人生を送るために、本当に必要なものを育むことです。それは受験のためだけの一部に偏った教育でもなく、職業に直結した技術や技能だけを学ぶ教育でもありません。円のようにバランスよく、幅広く教養を身につけてもらうことです。

これを具体化するために、授業として「茶華道」を三年間学ぶ落ち着きをも身につける、「生活の書道」を必修とし毛筆・硬筆での手紙の書き方を学ぶ、音楽でなく「コーラス」の授業を設け集団で創り上げていく喜びを知る、といった新しい試みを行なうこととしています。また、現在のコース制で培ったノウハウを基に理数系教科では習熟度学習により基礎から徹底的に学ぶこととし、一クラスを三分割しネイティブスピーカーだけによる英会話学習、体系的な進路指導プログラム、など多くの経験を生徒へと還元すべく「学ぶ楽しさ」「知る喜び」を一人でも多くの生徒たちに感じてもらうためのこの改革を、私たちは「新・教養レニッサンス」と名づけ、全教職員一丸となって取り組んでいきます。

平成十七年度 進路結果

龍谷大学 3名	大阪国際大学 1名	共立女子短期大学 1名
京都産業大学 1名	帝塚山大学 4名	創価女子短期大学 1名
大谷大学 1名	中京女子大学 1名	アミューズメント総合学院 1名
園田学園女子大学 1名	大阪女子短期大学 39名	キャットミュージック 1名
関西大学 1名	大阪女子短期大学 2名	トラジャル旅行ホテル 2名
関西外国語大学 1名	ブルー学院大学 2名	大原簿記法律専門 1名
桃山学院大学 2名	関西外国語大学 3名	大阪アニメーション 1名
帝塚山学院大学 7名	四天王寺国際大学 5名	大阪コミケーションアート 1名
追手門学院大学 3名	常磐会短期大学 3名	大阪ベルエル美容 1名
大阪大谷大学 5名	大阪キリスト教短大 3名	大阪教育福祉専門 1名
大阪体育大学 1名	大阪音楽大学 1名	大阪歯科学院専門 1名
大阪樟蔭女子大学 2名	大阪学院短期大学 1名	大阪風林医療学院 1名
大阪産業大学 2名	大阪薫英女子短期大学 1名	日本医療秘書専門 2名
大阪工業大学 1名	大阪芸術大学 1名	ベルランド看護助産専門 2名
大阪芸術大学 3名	大阪国際大学 1名	小阪病院看護専門 1名
相愛大学 2名	大阪大谷大学 9名	大阪府医師会看護専門 1名
四天王寺国際仏教大学 2名	梅花女子大学 1名	大阪医専 1名
阪南大学 2名	大阪女子短期大学 1名	大阪府医師会看護専門 1名
羽衣国際大学 1名	白鳳女子短期大学 3名	学校幹旋 1名
梅花女子大学 1名	武庫川女子大学 1名	縁故 3名
		家事など 4名

【就職】
三月一日 現在 延べ数

第五十八期生(平成十八年卒業)

ふじなみ会 幹事

1組 神先敬子	4組 紀ノ崎文
2組 西矢真砂子	5組 東美希
3組 山口祐佳里	6組 且麻衣子
吉山小百合	池美奈
山畑奈々	坂本佳那
吉田理沙	皿田有香

本校で長い間、体育の教鞭をとられ、またバレーボール部の顧問を務められていた西田守先生が、昨年十月三十一日がんで逝去されました。

先生は、大阪市立大正中央中学校の教員を経て、昭和四十八年に本校に赴任されました。中学時代は、バレーボール部顧問として、現在の全日本女子チームの監督である柳本晶一氏や元全日本男子チーム監督の辻合真一郎氏らを指導されたことでも知られています。本校へ着任後は、速攻を中心とするコンビバレーでチームを鍛え、大阪大会、近畿大会の優勝

はもちろんのこと、インターハイなど全国大会の常連校へと成長させました。なかでも昭和六十一年、平成三年の二回は、全国高等学校バレーボール選抜優勝大会(春の高校バレー)決勝に駒を進め、惜しくも優勝を逃しましたが、準優勝という戦績を残されました。この際のトロフィーは今も職員室横のケースに展示されています。また、この間全日本ジュニアチームやユースチームの監督も歴任され、一九九五年の世界ユース選手権では、監督として優勝の栄冠を勝ち取りました。

高校を定年で退職された後も、併設の短期大学バレーボール部の監督に就任されると同時に、日本バレーボール協会理事・女子強化委員長として活躍を続けられていました。六十五歳というまだまだこれからという時期での逝去は、本学園にとっても大きな悲しみであり、ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。



西田守先生

訃報

★会報誌に載せませんか?
原稿募集

原稿募集
クラス会、近況報告、趣味、催し等呼びかけ、ご利用多数お待ちしております。

★お願い★
今後とも会員の皆様に、母校の現状や、情報交換、また会員名簿の発行、そして在学生への活動支援のためにも、協力金・寄付金の趣旨をご理解いただき、引き続きご協力をお願いする次第です。出費多端の折、誠に恐縮ではございますが、よろしくお願い申し上げます。

“世に役立つ人物の養成”
学校法人 谷岡学園
Tanioka Gakuen Educational Foundation

大阪商業大学・大学院	大阪女子短期大学高等学校
神戸芸術工科大学・大学院	大阪商業大学附属幼稚園
大阪女子短期大学	大阪商業大学高等学校

平成十七年度「ふじなみ会」会報
協力金・寄付金ご芳名
(平成十八年二月五日現在)

室屋ユリ子	12期	宮川 昭子	12期
千谷 久江	14期	山岡 友子	14期
神藤 良子	15期	安松 秀子	15期
山田 里美	16期	井上 和江	16期
宝満 久子	17期	生野 直美	17期
高嶋 孝子	18期	伊藤 彰子	18期
浦 伴子	19期	窪田 輝子	19期
野尻 悦子	20期	泥谷 和子	20期
江澤 一子	21期	岡崎 京子	21期
河合須美子	22期	室谷千代子	22期
柏尾 晴美	23期	上田 俊子	23期
吉川 陽子	24期	松本美智代	24期
豊永 昌子	26期	木村 実都	26期
木村 実都	27期		27期
	31期		31期
	40期		40期

【大阪女子短期大学 高等学校】
合計217、330円
(振り込み手数料除く)

【大阪女子短期大学 高等学校】
会員の皆様方より、協力金・寄付金の趣旨をご理解いただき、今回もご協力いただきました。誠にありがとうございます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

【お詫び】
前号「ふじなみ」第七号の協力寄付金のご芳名欄の十五期菅野晶子様は五十五期の誤りでした。大変ご迷惑おかけし申し訳ございませんでした。

同窓会生子女減免制度

本校では、祖母・母・姉が卒業または在学といった、同窓生の子女の入学に際して、入学金半額を免除しております。

詳しくは、高校入試対策係
TEL. 0729 (55) 0718
まで、お問い合わせ下さい

大きな声で いただきます。
満腹御礼、20店舗

人の縁が、味の縁。
味の縁が、人の縁。

株式会社 新宿

会席料理 4,000円から
お弁当 2,000円から
鍋料理 2,800円

〒545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野1-1-61 TEL.(06)6624-8000(代)
第2期生(昭和31年卒業)津石文子